

令和2年5月

社会福祉法人梨雲福祉会
特別養護老人ホーム梨雲苑
特別養護老人ホーム 梨雲苑ゆうゆう

梨の風通信

なしのかぜ つうしん



呉羽梨の花

ごあいさつ

理事長 林 一枝

令和二年度が気持ちよくスタートしようかと意気込んでいたところで、日本全体、世界全体が新型コロナウイルスの脅威にさらされています。法人では二月から感染対策を始め、各事業所が円滑に運営できるよう、ご利用者さまにご負担をかけないよう、職員一同取り組んでおります。ダイヤモンドプリンセス号に始まり、都市部では少しづつウイルスの恐怖に人々が気付き始めたころ、富山はまだのんびりとしたものでしたが、四月に入り感染者が一人二人出てきたのを契機にあれよあれよと感染者は膨らんできました。一日中テレビではコロナウイルスの脅威を伝え、不安を煽っています。ウイルスの怖さは勿論ですが、このウイルスのお陰で人の心の弱さ、怖さを痛感しているところです。

ウイルスのことを正しく知り正しく恐れる。それ以外に私たちにできる手立てはありません。閉鎖・禁止、それが一ヶ月、二ヶ月なら我慢できるけれども終わりのない見えない敵との戦いは心身ともに疲弊します。町は人通りも車も減り、閉まっている店も増え日常とは明らかに違っています。ただ法人を利用している方々には家の中、施設の中で、できる限り穏やかに過ごせるように働きかけるのが私たちの職務であると思います。医療者だけではなく介護従事者も濃厚接触は避けられません。認知症などのためマスクや手洗いをご理解いただけない利用者様も多數おられます。それに対し不安を覚える職員もいるに違いありません。しかしこの難解な現状の中、改めて私たちの本分を思いました。「時に癒し しばしば支え 常に慰む」いつか人類がこのウイルスに打ち勝つ、共存していくことができる日まで、いつもとは全く同じではないけれども、ここにいれば安心、と思つていただけるように体制を立て直していくように動いております。そのため、面会制限、変則的なご利用などご不便をおかけしていることも多々ございますがご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

また何より皆様の毎日が安心安全で過ごせますように心よりお祈り申し上げます。



令和2年度新入職員紹介



介護福祉士
山田 陽菜

梨雲苑一階「すみれユニット」の山田です。趣味は音楽鑑賞で、笑顔を忘れず一生懸命頑張ります。



介護福祉士
田畠 さくら

梨雲苑一階「さざんかユニット」の田畠です。趣味は古着屋巡りです。丁寧に皆さんと接していきたいと思います。



介護福祉士
中村 綾花

梨雲苑ゆうゆう「あじさいユニット」の中村です。趣味は猫とのんびり過ごすことです。入居者の方々が安心して穏やかな暮らしを送れるように頑張ります。



看護師
柳瀬 美穂子

梨雲苑ディイサーク・ビスセンター看護師の柳瀬です。趣味は読書です。いち早く体調変化に気付けるよう頑張ります。



家族会会長
宮川 千里

花の盛りもいつしか過ぎ葉桜の季節と成りました。皆々様方も、ご健勝の事と存じます。

今、世界的な感染終息が見えない状況の新型コロナウイルスに伴う世の中の様々な活動が中止、延期、縮小されています。外出を控え手洗い、マスクの徹底を忘れず日々をすごしたいものです。

今後とも梨雲苑、梨雲苑ゆうゆう家族会をよろしくお願い申し上げます。

家族会総会

10月27日(日)令和元年度家族会総会が開催されました。令和2年度の役員が承認され再任の宮川会長よりご挨拶を頂きました。

就任・着任挨拶



地域ががやき
アドバイザー
課長
深野 祐次



ゆうゆう
ショートステイ
介護主任兼
主任生活相談員
齋藤 恵子

法人の地域貢献、公益的な取り組み強化という使命感ある役目に就いて5年経ちました。地域が輝くような活動支援ができているのか自問自答を繰り返しています。住民の皆さんとともに明るく輝く地域づくりに邁進したいです。



ゆうゆうホーム
介護主任
堀 仁美



でいさーびすざいざい
管理業者兼
主任生活相談員
今井 勝憲

入職して25年目の節目の年に
ゆうゆうに異動になりました。梨
雲苑で培った出会いと経験を最
大限に生かすとともに心機一転、
初心に戻り皆様に笑顔と安心を
届けていきたいと思います。



ゆうゆうホーム
主任看護師
森 有香

笑顔と思いやりを大切にし入居者様が
その方らしく尊厳を持った暮らしを継続
していくように多職種と協働していく
たいと思います。今後も、看護職として、
自己研鑽に努めていきたいです。



やまぶき
ユニットリーダー
中村 碧

至らないところも多々あると思いま
すが、四季折々の風が届くよう精一杯
努めさせていただきます。



こすもす
ユニットリーダー
増山 美香



地域に根差した“さしさい”
で新しい笑顔を届けます。ご利用
者様の笑顔がさらに増えるよ
うに励ませて頂きます。



ゆうゆう居宅介護支援事業所
副主任
梨雲苑デイサービス
副主任生活相談員
高島 千恵

入居者様一人ひとりの気持ちを大
切にし、ここにいてよかつたと思って
もらえるように努めていきたいと思
います。



さいさい居宅介護支援事業所
副主任
濱田 里美

住み慣れた地域で安心して暮らしつ
けられるよう、お一人おひとりに寄り
添つて支援していくことを思
います。



日々の出会いを大切にし、一
人ひとり生活リズムに合わせた
安心・安全な暮らしの継続をあ
たたかい心を持つて支えていき
たいと思います。



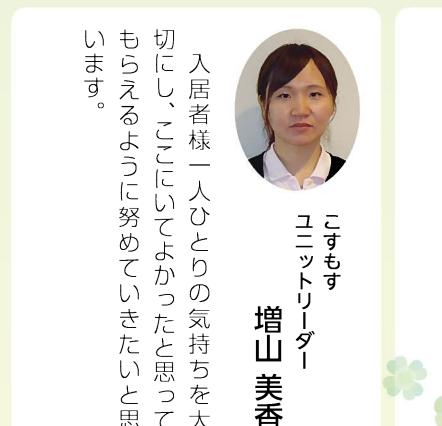
法人の地域貢献、公益的な取り組み強化という使命感ある役目に就いて5年経ちました。地域が輝くような活動支援ができているのか自問自答を繰り返しています。住民の皆さんとともに明るく輝く地域づくりに邁進したいです。



日々の出会いを大切にし、一
人ひとり生活リズムに合わせた
安心・安全な暮らしの継続をあ
たたかい心を持つて支えていき
たいと思います。



入職して25年目の節目の年に
ゆうゆうに異動になりました。梨
雲苑で培った出会いと経験を最
大限に生かすとともに心機一転、
初心に戻り皆様に笑顔と安心を
届けていきたいと思います。



日々の出会いを大切にし、一
人ひとり生活リズムに合わせた
安心・安全な暮らしの継続をあ
たたかい心を持つて支えていき
たいと思います。



至らないところも多々あると思いま
すが、四季折々の風が届くよう精一杯
努めさせていただきます。



日々の出会いを大切にし、一
人ひとり生活リズムに合わせた
安心・安全な暮らしの継続をあ
たたかい心を持つて支えていき
たいと思います。



入居者様一人ひとりの気持ちを大
切にし、ここにいてよかつたと思って
もらえるように努めていきたいと思
います。

梨雲福社会スローガン

すべての人に生きがいを

職 員 自身の職務に働き甲斐、役割を見出し、長く法人で働く環境を整える

ご利用者様 安心安全に過ごせる環境を提供し、自立支援介護の充実を一層求めていく

地 域 生まれ育った地域で長く健康に過ごせるように、法人から地域活動に対し情報を発信し、ともに協力をする

令和
2年度

事業所別スローガン

特別養護老人ホーム 梨雲苑

1F

やまぶき 四季折々の風を届けます

さざんか いつまでも自分らしく
～一人ひとりの暮らしに寄り添い支えていきます～

すみれ その方らしさを大切に

2F

さくら 入居者様に安心を ご家族に信頼を
そして暖かく居心地よい環境づくり

なのはな おいしく食べる 楽しく暮らす

あ や め 一人ひとりが安心できる暮らしを

つ つ じ 伸び伸び暮らし、伸び伸び働く

もくれん 一人ひとりの主体性を大切にし、
「自分らしい生き方」が出来る暮らしの場をつくります

すずらん 一人ひとりの思いに寄り添い暮らしを支える

看 護 入居者の健康状態において
常に専門的な視野で異常の早期発見に努めます

厨 房 安心・安全な食事の提供、毎食が笑顔になれる食事作り

吳羽地域包括支援センター 「結」～人を、地域を、安心を～

地域かがやきアドバイザー 地域共生社会の実現に向けて、住民と共に地域づくりを目指します

令和2年度事業計画の策定にあたり、ユニットをはじめ各々の事業所が掲げているスローガンを紹介します。

居宅介護サービス

梨雲苑デイサービスセンター

3つの「〇」～話・和・輪～(利用者↔職員、利用者↔利用者、職員↔職員)

梨雲苑ゆうゆう
デイサービスセンター

スクラムを組んで毎日ベストケア!!

でいさーびす さいさい

利用者様ファーストをモットーに、利用者様が満足できる事業所にする

梨雲苑ヘルパーセンター

利用者理解、利用者様のニーズを引き出す

梨雲苑居宅支援事業所

住み慣れた地域でいつまでも
人と人、人と地域をつなげるつなぎ人になろう

ゆうゆう居宅支援事業所

住み慣れた地域での暮らしをチームで思いやりを持って支える

さいさい居宅支援事業所

最期までその人らしい人生が送れるよう、生活を支えられる事業所に

特別養護老人ホーム 梨雲苑ゆうゆう

こすもす

入居者一人ひとりの気持ちを大切にして、それぞれに合ったケアを行い、
家庭的な雰囲気のもとで、日常生活ができるよう支援します

すいせん

思いに寄り添いながら笑顔で穏やかな暮らしを出来るようにサポートします

あじさい

入居者一人ひとりに寄り添い、
笑顔でその人らしい暮らしをできるように支援します

なでしこ

個性を大事に 安心して笑顔で暮らせるユニットを目指します

梨雲苑ゆうゆう短期入所

かえで

『また来たい』をここに

ひいらぎ

人と人とを繋ぐ

くちなみ

叶えよう あなたにとっての『幸せ』を

はなみずき

心のよりどころである場所



ゆうゆうガーデン

大きく のびのび みんなの笑顔



地域の皆さんとお餅つき

2月は梨雲苑とゆうゆうのデイルームで地域の皆さんとお餅つき行事が行われています。今年は民生委員の皆さんのが日頃から見守りしているお一人暮らしや高齢夫婦の方をお招きして、餅つきとあずきやきな粉付けを行い一緒にいただきました。

お餅つき



慣れた手際で盛り付け



懐かしい杵つき餅



2月22日、今回は研究事例12演題の発表で、富山短期大学健康福祉学科の石橋教授と吉牟田准教授をお招きし講評を頂きました。この中から演題「看取りパンフレット作成への取り組み」と「認知症の方と寄り添うユニットケア」の2題を老人福祉施設協議会の研究大会に提出しています。

第28回 職員研究発表会



誰もがなり得る病気「認知症」。ご家族が認知症にならざると対応に困り、悩むことも多いと思います。地域包括支援センターでは「支える家族の会」を企画・認知症について学び、話し合い、一人で抱え込まない優しい気持ちで暮らすための会を開催しました。

1月は、認知症疾患医療センターから講師を招き、講義のほか参加者の悩みや質疑に丁寧にお答え頂きました。

2月は臨床美術士による満開桜の表現演習で、参加者の皆さんのが自由な発想で作品を作り、楽しくリラックスできる時間を過ごしました。

認知症家族介護教室

オレンジカフェ in リアン

呉羽地域包括支援センター





介護福祉機器の導入と



令和元年、職員の介護負担軽減のため、福祉機器の導入について助成を受けました。

富山労働局からは、ベッドから車いすへの移乗が寝たきりの姿勢でも可能な電動リフトを3台、合わせて椅子や便座からの動作が容易になる立ち上がり補助リ

フト一台の購入について助成を受けました。また、富山県からはがんばる介護事業所表彰の副賞として座位姿勢のまま横移乗ができるスライドボードを3枚頂いております。

施設やデイサービス、ホームヘルパーの介護職員に講習会を行い全員が交替で取り扱いや声掛けなどを受講し、利用される方が安心できるよう技術の習得に努めました。



令和元年、職員の介護負担軽減のため、福祉機器の導入について助成を受けました。

地域密着型事業所の運営推進会議を開催



年2回行っている消防避難訓練は2月28日、梨雲苑2階の居室を火元に今回は自主訓練として行いました。初期消火、入居者の避難誘導、駆けつけ職員の応援など手順の一つ一つを確かめながら入居者の安全を第一に避難できました。全館に鳴り響く火災警報や誘導灯に職員や入居者の皆さんも改めて防火の意識を高めました。

消防避難訓練を行いました！



梨雲苑の認知症対応通所介護と小規模でのいざーびすいざーいが地域密着型介護サービス事業所としてそれぞれに来苑いただき、提供しているサービスの内容、運営状況を説明することで、地域に開かれたサービスとして質の確保に努めています。



社会貢献への取り組み



日本財団より
福祉車両の導入助成

公益財團法人日本財团から助成を受けて車いすのまま乗降できる福祉車両を導入しました。梨雲福祉社会ではサービスを利用する皆さんの送迎に使用しています。ご利用者様からは快適で気持ちが良いと喜ばれています。

社会貢献活動として行っているペルマークとペットボトルのキャップ収集が梨雲苑を利用される皆さんのご協力により定着しています。集まったペルマークは小学校に、ペットボトルのキャップは株式会社アルト様のリサイクル活用を通じて社会福祉施設への車いす寄贈に貢献できました。

また、募金箱の設置とともに夏祭りチャリティバザーの収益金を共同募金に、さらに昨年末は「いきいきボ」の利用料金の一部を災害義援金として寄付をしています。ご協力を頂きました皆さんに厚くお礼申し上げます。

12月19日 ペットボトルキャップ

64kg(27563個) 株式会社アルト

12月23日 いきいきラボ災害義援金

10万円

善意銀行

梨雲福社会は SDGsに取り組んでいます!!




**エスディジーズ
SDGsとは?**

SDGs(持続可能な開発目標)とは、「世界中の誰一人残さない」をテーマに国連サミットで採択された、2030年までに達成すべき課題及び具体的な目標を定めたものです。

都市の理想を、富山から。



SUSTAINABLE GOALS

**すべての人に
健康と福祉を**

- ・いきいきラボ(体操教室)
- ・カラオケ大会
- ・パークゴルフ大会 など



**働きがいも
経済成長も**

- ・ゆうゆうガーデンの運営(託児施設)
- ・地産地消(地元野菜の販売と消費)



**住み続けられる
まちづくりを**

- ・地域清掃活動
- ・河川美化運動
- ・いきいきバス協賛 など



梨雲福社会は富山市SDGsセンター登録を行い、他にも多数の取り組みを実施しています。



きれいに
映ります♪

**遠方のご家族や
面会制限中でも
ご様子をお伝えしています♪**



梨雲福社会ではホームページを通じて施設の情報発信を行っています。施設やデイサービスの行事風景をトップクラスにまとめています。

また、入居されている皆様のご家族専用ページでは、入居者の生活の様子を写真で見ることができます。さらに、メールを使って個々の情報交換や画像の添付にも対応しています。

昨今の通信事情から現在、ビデオ通信アプリ(Skype)を使った面会方法を行っています。スマートフォンやタブレット、カメラ付きパソコンをお持ちの方はご利用可能です。詳細につきましては生活相談員にお問い合わせください。

発行所

社会福祉法人梨雲福社会
特別養護老人ホーム梨雲苑
特別養護老人ホーム 梨雲苑ゆうゆう

発行人

理事長 林 一枝

〒930-0142富山市吉作1725
TEL (076) 436-2002
FAX (076) 436-2165
E-mail:riun1725@riunen.com
URL:https://www.riunen.com

編集後記

「こいつは春から縁起がいいわえ」とは言い難い春を過ぎることになりました。桜が咲いても花見ができず、入社式や異動があつて施設の情報発信を行っています。施設やデイサービスの行事風景をトップクラスにまとめています。

また、入居されている皆様のご家族専用ページでは、入居者の生活の様子を写真で見ることができます。さらに、メールを使って個々の情報交換や画像の添付にも対応しています。

昨今の通信事情から現在、ビデオ通信アプリ(Skype)を使った面会方法を行っています。スマートフォンやタブレット、カメラ付きパソコンをお持ちの方はご利用可能です。詳細につきましては生活相談員にお問い合わせください。

「こいつは春から縁起がいいわえ」とは言い難い春を過ぎることになりました。桜が咲いても花見ができず、入社式や異動があつて施設の情報発信を行っています。施設やデイサービスの行事風景をトップクラスにまとめています。

また、入居されている皆様のご家族専用ページでは、入居者の生活の様子を写真で見ることができます。さらに、メールを使って個々の情報交換や画像の添付にも対応しています。

昨今の通信事情から現在、ビデオ通信アプリ(Skype)を使った面会方法を行っています。スマートフォンやタブレット、カメラ付きパソコンをお持ちの方はご利用可能です。詳細につきましては生活相談員にお問い合わせください。